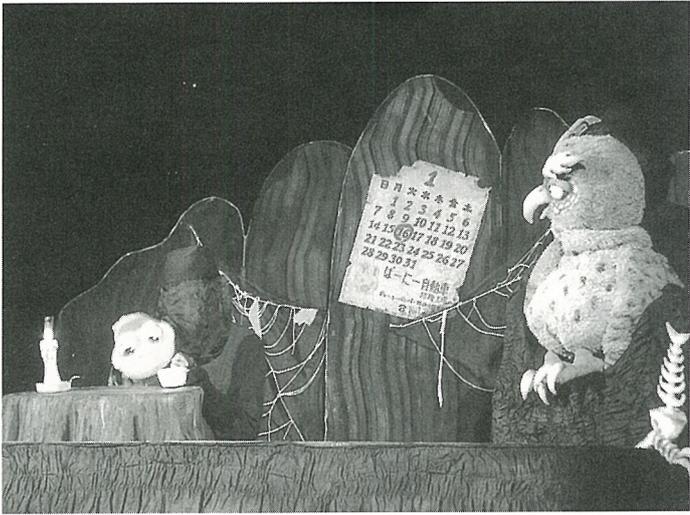


夢中になった 熱い夏 “いいだ人形劇フェスタ2006”

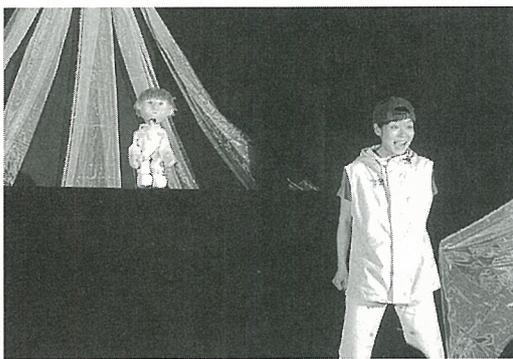
地区公演 大盛況



人形劇団《京芸》
「火よう日のごちそうはひきがえる」

竜丘地区では有料公演と各分館での公演が行われ、どの会場も多く家族連れなどが訪れて人形劇を楽しみました。

☆ すっかり飯田の夏の風物詩となった人形劇の祭典、「いいだ人形劇フェスタ2006」が、「支えあい、創りあう今、フェスタがうれしい、人形劇だからおもしろい」をテーマとして八月三日から六日までの四日間開催されました。



人形劇団《ベンベン》「僕のロボット」
(時又ふれあいセンター)

八月三日、竜丘公民館では京都の人形劇団「京芸」による有料公演「火よう日のごちそうはひきがえる」(チェロ生伴奏バージョン)が行われました。竜丘公民館で有料公演が行われるのは昨年に引き続き二回目となりました。会場となった大ホールには、親子連れなど約四百名が早くから訪れ開演を今か今かと待ちました。

公演は、チェロの生伴奏をバックミュージックに行われ、冬に旅に出たヒキガエルが、ミミズくまに誘われて、自分の誕生日のご馳走にさうなになるが、一緒に過ごすうちにミミズクが、ヒキガエルのやさしさを感じて友情が芽生えるという内容でした。かわいらしいヒキガエル、大きく迫力のあるミミズクの人形がとても魅力的でした。

チェロ演奏の妨げにならないように冷房を止めての公演でしたが、会場を埋め満ちた観客は、まるで自分が主人公のヒキガエルであるかのように話の中に引き込まれ、最後まで夢中になって舞台に見入っていました。客席と舞台の距離も近く一つひとつの動作が表情豊かに演じられていましたので、人形劇のすばらしさを身近に感じることができました。

上演後、劇人たちがホールで見送りをしてくれたので、間近で人形に触れることのできた子供たちはとてもうれしそうでした。各分館での公演も人形劇あり、影絵あり、腹話術ありと多彩に行われました。八月四日、時又ふれあいセンターでは東京の人形劇団「べこべこ」が「僕のロボット」を上演しました。しおん君という未来のまにに住む小学生が主人公の物語でした。しおん君はコ



《ポポルの一座》 (上川路公民館)

また、同日は上川路公民館でも大阪の劇団「ポポルの一座」が「エンターテイメントショー」として、腹話術や皿回しなどを上演しました。

今年の人形劇フェスタは天候に恵まれ、とても暑い日が多かったですが、人形劇に夢中になるうちに暑さも忘れていました。そして子供たちから「次は何を観ようか」などの声が聞かれるうちに、飯田の熱い夏が終わり、今年もたくさんの方の感動が生まれた人形劇フェスタでした。来年も期待したいと思えます。



私達竜丘レディーズは、ソフトボール好きが集まり、チームの人数も増え、和気藹々ととても楽しく週一回練習を行っています。八月二十七日に公民館主催「レディーズソフト」が行われ、皆張り切って出場しました。一回戦三穂、二回戦山本に勝ち、念願の決勝に進む事が出来ました。龍江との決勝は熱戦となり、同点で決着がつかず、延長戦となりました。先攻の私達は、四番の満塁ホームラン等で五点を取ったのですが、その裏惜しくも逆転され、準優勝となりました。しかし、しばらくぶりの準優勝で、賞状とトロフィー

も良くないと思いました。本場のことを知るために弟の佑樹やレオンの友達に頼りました。佑樹は「私も思っています。弟の佑樹はとっても勇気があ

を頂く事が出来、慰労会は大いに盛り上がり、来年は、ぜひ優勝を狙いたいと思います。最後に、ソフトボールをやりたい人、興味のある人初めての人でも、ぜひ水曜日の夜サンヒルズに来てみて下さい。一緒にソフトをやりたいです。

景観的にも、独特な農村風景を作りだしている。景観を大切にすること、そこでの農業を存立させることは、必ずしも両立してはいないだろう。棚田の米の味が貴重だとしても、それだけでは、経営としては成立しないだろう。棚田の保持は地域の景観や土地の保全の為に考えている所が多いようだ。

経済的にも自立ができ、若い人たちにも、魅力ある農業へと今後進んでいければ、私たちの「食」への不安も少しずつ良い方向へ向くのではないだろうか。



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 22-5353

人口	6,862人
男子	3,372人
女子	3,490人
世帯数	2,198戸
(18年8月末現在)	

心のハードルを 飛びこえる勇気を 親子映画鑑賞会

去る七月十五日に竜丘公民館大ホールで竜丘小学校PTA主催、竜丘公民館共催で、親子映画鑑賞会が開催されました。急な夕立にもかかわらず小学生を中心に約二六九名の参加がありました。

「ハードル」を見て 竜丘小学校六年 原 麻梨子(桐林)

小学校の時、友達と万引きでレオンが犯人になって



先生の中には佑樹達と一緒に、本場のことを知ると、勇気を持つこと、友達を思いやる事が大切だと思

も良くないと思いました。本場のことを知るために弟の佑樹やレオンの友達に頼りました。佑樹は「私も思っています。弟の佑樹はとっても勇気があ

ヤブ叟

団塊世代の定年退職の増加もあり、定年後の生き方や仕事のあり方がにわか注目されるようになった。都会では、農村に行き農業をやりたい人も増えているという。

将来のまちづくりと地域の重要課題を検討 市政懇談会

八月二十五日に竜丘公民館で地区民約一五〇人が参加し市政懇談会が開催されました。第一部で新しい飯田市のまちづくりの方針についての説明を、第二部では竜丘地区の課題について意見交換をしました。



第一部では、平成十九年度より実施をしていくこととなる新しいまちづくりの計画「第五次飯田市基本構想・基本計画」について説明がありました。この計画は、市民検討会議を中心とした市民と行政がキャッチボールしながら作り上げてきたことが特徴で、従来の様な行政の執行計画では

「住み続けたいま住んでみたいまち飯田」人も自然も輝く文化経済自立都市」を目指すとしています。絵に描いた計画とならないよう、具体的な数値で達成目標を定め、進捗管理をしていくとのことでした。

続いて、「行政改革大綱・集中改革プラン」について説明がありました。行政に求められる役割を最小の経費で最大の効果を上げて実現するための行政の改革の方針を定めるものになります。行政と民間の役割の見直し・協働の促進、効率的・効果的な行政運営、公平公正で良質な行政サービスの提供、評価や監査による信頼の確保などに重点的に取り組んでいくとの事でした。

これらに対し会場から、新しいまちづくりでは具体的に何を重点にしていこうのかとの問いに、牧野市長は市民検討会議をはじめとした様々な方の思いが詰まったものであり、産業振興・子育て支援・安心安全などという形で施策に現れていると答弁しました。

第二部は、竜丘地区の課題について意見交換がおこなわれました。都市計画街路桐林大明神原線の今後の取り組みについての問いに、県は平成二十年三月までに治水運搬道路までの完成を予定している。国道から先の計画は決定したものはなく地区の皆さんと考えていきたいと説明がありました。

塚原古墳群や臼井川秘境の整備をすすめており、地域の活性化を図ろうとして、地域の資源を資産として活用してはどうかとの意見に、竜丘は大きな可能性のある地域で情報発信をしていくについて地元と一緒に考えていきたい。天竜峡の再生には周辺地域との連携が必要不可欠と考えていると説明がありました。

長野原では宅地化が進み大雨の時に側溝から雨水があふれ、床下浸水の危険もあるため将来をみこした計画・整備をする要望に対し、市側は全庁的な最優先箇所が終わった後行いたい。それまで応急的に対応するかと答えました。

今年度で九回目になる「ふるさとコンサート」が、ピュレ・その他のメニュー「MIYABI Quartet」が、三十一曲が用意され、その中からリクエストに応えながら演奏を進める方式でした。「リクエストのある方」の問いに、多くの方々の手が活発に上がりました。

「アイネ・クラ イネ・ナハトムジークより」ヴァイオリン協奏曲集「四季」より「春」の演奏の進め方が工夫されていて、一層側面の意識を高めました。その進め方とは、「クラシックメニュー」より「春」の

去る七月十六日に公民館委員研修旅行が、二十八名の皆さんが参加して行われました。今回はテーマに沿って飯山、中野、小布施、須坂方面を訪れました。

朝、竜丘公民館を出発、バスは、中央道、長野道、上信越自動車道を走り、まずは飯山市へ向かいました。車内では民俗資料保存委員長

の今村文一さんより「島崎藤村、破戒と飯山、破戒と飯田」について解説をいただきました。飯山市では、飯山学習会でボランティアをしている渡辺さんより「寺の町、七福神巡り」を

テーマに六ヶ所ほど案内し、記念館などを見学していただきました。雨の中でしたが熱心に説明していただきました。次に中野の「中山晋平記念館」を見学しました。記念館入り口では、童謡「やぶん玉にちな

み、しゃばん玉の出る装置があり、数多くの童謡、歌謡を作曲され、この曲も手がけられたのかと感心させられました。小布施で栗おこわの昼食をとった後、北斎館、高井

野原歴史館を見学しました。記念館などを見学していただきました。雨の中でしたが熱心に説明していただきました。次に中野の「中山晋平記念館」を見学しました。記念館入り口では、童謡「やぶん玉にちな

み、しゃばん玉の出る装置があり、数多くの童謡、歌謡を作曲され、この曲も手がけられたのかと感心させられました。小布施で栗おこわの昼食をとった後、北斎館、高井野原歴史館を見学しました。

み、しゃばん玉の出る装置があり、数多くの童謡、歌謡を作曲され、この曲も手がけられたのかと感心させられました。小布施で栗おこわの昼食をとった後、北斎館、高井野原歴史館を見学しました。

み、しゃばん玉の出る装置があり、数多くの童謡、歌謡を作曲され、この曲も手がけられたのかと感心させられました。小布施で栗おこわの昼食をとった後、北斎館、高井野原歴史館を見学しました。

み、しゃばん玉の出る装置があり、数多くの童謡、歌謡を作曲され、この曲も手がけられたのかと感心させられました。小布施で栗おこわの昼食をとった後、北斎館、高井野原歴史館を見学しました。

北信濃の文化と芸術を感じる旅 「公民館研修旅行」



文化委員長 熊谷且至

文化委員長 熊谷且至

文化委員長 熊谷且至

文化委員長 熊谷且至

文化委員長 熊谷且至

読みやすくなりやすい 館報研修会

「読みやすい紙面の作り方はどうしたらいいか」を学習する館報研修会が、各分館からも参加を得て、総勢二十名で開催されました。

最初に、龍共印刷の方に紙面を作る上での注意事項が、あまり望ましくない方法などの、参考資料を見ながら講義をもらいました。実際に発行された紙面を利用しながらの説明は、大変に理解しやすいものと

後半は、二グループに分かれて分散会形式で行いました。講義を聞いての疑問を聞いたり、苦労する点を話したりと、講義を聞いて

写真のとり方や向きなど、指定をすれば、修正ができていけることなどを教わることができました。最後に参加者から「来年もやろう」と前向きな意見も聞かれました。

夏のひととき 音楽を心ゆくまで楽しんで 第九回「ふるさと」コンサート

今年度で九回目になる「ふるさとコンサート」が、ピュレ・その他のメニュー「MIYABI Quartet」が、三十一曲が用意され、その中からリクエストに応えながら演奏を進める方式でした。「リクエストのある方」の問いに、多くの方々の手が活発に上がりました。

「アイネ・クラ イネ・ナハトムジークより」ヴァイオリン協奏曲集「四季」より「春」の演奏の進め方が工夫されていて、一層側面の意識を高めました。その進め方とは、「クラシックメニュー」より「春」の

「アイネ・クラ イネ・ナハトムジークより」ヴァイオリン協奏曲集「四季」より「春」の演奏の進め方が工夫されていて、一層側面の意識を高めました。その進め方とは、「クラシックメニュー」より「春」の

ピュレをあげて楽しむ ペタンクマスターズ

七月三十日に、ペタンクマスターズが開催されました。折しも梅雨明け宣言の発表された日で、とても暑い中での競技となりました。

最初にルール説明を兼ねて講習会が行われました。初めてペタンクを行う方もいて、「なるほど」と実際にやりながらの説明で理解をして競技へと入りました。

競技は六ブロックに分かれ、四チーム総当たりで行なわれました。ペタンクは、十三点先取したチームの勝利になるわけですが、各ブロック様々なドラマが生まれました。



ルール説明の一コマ